

述而第七

子曰、奢則不孫、儉則固。
 与其不孫也、寧固。

し い おご すなわ ふそん けん すなわ こ
 子曰わく、奢れば則ち不孫なり。儉なれば則ち固なり。
 そ ふそん むし こ
 其の不孫ならんよりは、寧ろ固なれ。

(7-183)

<子曰わく、奢れば則ち不孫なり>

Q：「子曰わく、奢れば則ち不孫なり」とは何ですか。

- A：(1)「孔子が言った。人はぜいたくに過ぎると、従順さを失って思いあがり、謙遜することを忘れる」の意。
- (2)「奢侈すなわち過ぎた贅沢は不遜になりがちで、おごりたかぶることになる」の意。
- (3)「奢」とは、おごる。衣食住などすべて身分をこえて贅沢なこと。
- (4)「不遜」とは、礼を失った驕慢さ。

<儉なれば則ち固なり>

Q：「儉なれば則ち固なり」とは何ですか。

- A：(1)「儉約に過ぎると、ともすれば頑固になる」の意。
- (2)「儉約にすぎるとかたくなになる」の意。
- (3)「儉」とは、つづまやか。物にしまりのあること。儉約。
- (4)「固」とは、かたくなで、みすぼらしいこと。

<其の不孫ならんよりは、寧ろ固なれ>

Q：「其の不孫ならんよりは、寧ろ固なれ」とは何ですか。

- A：(1)「どちらかと言えば、思いあがって謙遜することを忘れるよりも、頑固になる方が、まだよいだろう」の意。
- (2)「どちらも中正を失ったもので、よいことではないが、不孫であるよりは、むしろ固陋の方がまだよいであろう」の意。
- (3)これも、孔子のまことを尊ぶ思想の一連の言葉。